

労災事故再発防止対策（報告）書

富士労働基準監督署 御中

以下のとおり労災事故再発防止対策を樹立したので、報告します。

事業者職氏名 _____

提出日 年 月 日

労働者死傷病報告書提出日	年 月 日
--------------	-------

事業の種類	事業場の名称		所 在 地	
			TEL ()	
被災者の氏名	年令	傷 病 名	災害発生年月日時刻	休業見込日数
	歳		年 月 日 時 分頃	
災害発生状況及び原因				

災害発生原因につき次の項目ごとに安全管理者・安全衛生推進者等に検討させ、問題があったと判断される事項を記入してください。

事 項	問 題 点
自社の安全衛生管理体制等（管理面）	
作業に関係した施設（設備面）	
作業に関係した作業方法（作業面）	
作業者の安全意識等（安全衛生教育面）	
上記以外で災害発生原因となった事項（その他）	

災害発生原因の分析の結果、同種災害の再発防止のためにとった対策又は計画について、下記の事項ごとに記載してください。

（管理面）
（設備面）
（作業面）
（安全衛生教育面）
被災作業に対するリスクアセスメントの実施状況
1 実施の有無（ 有 ・ 無 ）（いずれかに○をつけてください）
2 実施有の場合、リスク評価の方法（マトリクス法、数値化による方法等）及び評価結果並びに評価に基づいて実施した又は実施を予定している対策が分かる資料（リスクアセスメント実施一覧表等、裏面参照）を添付して下さい。
※リスク（危険）アセスメント（評価・判断）とは、作業における危険性又は有害性を特定し、それによる労働災害や健康障害の重篤度（被災の程度）とその災害が発生する可能性の度合いを組み合わせで「リスク」を見積もり、そのリスクの大きさに基づいて対策の優先度を決めた上で、リスクの除去又は低減の措置を検討し、その結果を記録する一連の手法をいい、労働安全衛生法第 28 条の 2 により、労働者を使用するすべての事業者に対し、努力義務が課せられています。

担当者（記入者）職氏名（ _____ ）

連 絡 先 （ _____ ）

※ 1 : この一覧表は、職場の工程ごとに作成します。各工程の全ての作業（作業手順）を取り上げ危険性又は有害性の並び出しから進めます。

※ 2 : 重傷性、可能性、および頻度は、それぞれ評価基準の例の発生のおよそのある負傷又は疾病の重傷度、発生の可能性、および危険性又は有害性に近づく頻度をいいます。レベル欄では評価点数（リスクポイント）を（ ）内に記入します。